

横浜キネマ倶楽部 第67回上映会 1970年/日本映画/78分/ブルーレイ上映

喜劇 女もつらいわ

森川信さん没後50年追悼上映会

1972年3月26日に他界した横浜市南区中村町出身
森川信さんを偲んで追悼上映を企画しました

森川信さんの出身地(南区)で開催!

3月12日(土)

13:00開場/13:35上映

[講演] 【1回のみ上映】

15:00~16:00

[講師] 高崎俊夫さん
(映画評論家)

「チケットぴあ」から
入場券が購入できます
購入は3月11日(金)迄となります
(Pコード:551-868)

「セブン-イレブン」でチケット購入可能

(C) 日活

新型コロナウイルスへの感染予防のため、上映会は中止になる可能性があります

森川信 高田美和 浜田光夫 清川虹子 岡崎友紀 宍戸錠 左卜全
トリオ・スカイライン(東八郎/原田健二/小島三児) 京唄子 鳳啓助
てんぷくトリオ(三波伸介/伊東四朗/戸塚睦夫) 正司敏江 正司玲児
監督:江崎実生 脚本:才賀明/江崎実生 音楽:坂田晃一 撮影:萩原泉

横浜市南公会堂(南区総合庁舎内3階)

☎045-341-1261(席数250席)

後援:横浜市教育委員会

[入場料]前売:1,000円 当日:1,300円 障がい者:1,000円 介助者1名無料

[主催・問合せ] ☎080-2554-8023(10時~18時)横浜キネマ倶楽部

[プレイガイド]有隣堂伊勢佐木町本店☎045-261-1231/高橋書店(元町)☎045-664-7371

いづみ書房☎045-241-1104/シネマジャック&ベティ(黄金町)☎045-243-9800

横浜シネマリン(長者町)☎045-341-3180/岩間市民プラザ(天王町)☎045-337-0011

[チケットぴあ](Pコード:551-868)「セブン-イレブン」でチケットの発券ができます。

【最寄駅】
市営地下鉄「阪東橋」駅
徒歩約8分
京浜急行「黄金町」駅
徒歩約14分



横浜キネマ倶楽部<第67回上映会>1970年/日本映画/カラー/78分/ブルーレイ上映



馬で夢みる一攫千金！ 歌と笑いの青春喜劇！！

【解説】

これは、爆笑とペースのうちに、下町の青春と、ひたむきに生きる人間模様を、映画、テレビ界の青春スタア、人気喜劇タレントが続々登場して華やかにくりひろげる大型娯楽作品で、新国劇映画株式会社製作、日活株式会社配給である。キャストは、浜田光夫、高田美和という初顔合せのグリーン・カップルに、宍戸錠、森川信、清川虹子、岡崎友紀、左ト全、さらには、京唄子、鳳啓助、正司敏江・玲児、てんぷくトリオ、トリオ・スカイラインとにぎやかな顔ぶれ。スタッフは、製作・望月利雄、守田康司、企画・高木豊、時枝国文、脚本・才賀明・江崎実生、監督・江崎実生のほか、撮影・萩原泉、照明・小林恒雄、録音・空閑昌敏、美術・柳生一夫、編集・辻井正則、音楽・坂田晃一、助監督・曾我仁彦、製作担当者・斉藤記一郎、スチール・井本俊康があたる。

【物語】

東京の下町、朝からゴキゲンな朝太郎(左ト全)がハンキに歌っているここ「梅の湯」で、町内の娘たちを集めて盛大なボインコンテストが行なわれた。ズラリならんだビキニのカワイコちゃんのボイン度をチェックして、ヤニ下っているのは、テレビでおなじみのトリオ銀二(伊東四朗)、大三(戸塚睦夫)、四郎(三波伸介)の三人組に、競馬好きの竜太(宍戸錠)だ。ところが、参加者のラストに町内No.1の美人江戸っ子寿司の光子(高田美和)がいたので、ボインコンテストはどこへやら、結局美人コンテストになってしまい会場は大混乱。光子は怒った父親の松造(森川信)に連れもどされた。彼女は松造が競馬ですった金の穴埋めをしようとしてコンテストに出たのだ。一方、江戸っ子寿司の向いにあるレストラン・フランスの息子和男(浜田光夫)も心配して訪ねてきたが、もともと松造と和男の母咲江(清川虹子)とは昔から犬猿の仲で、すぐケンカがはじまってしまった。光子と和男は心ひそかに愛情を抱きあっていたのだが、親たちの争いにはどうしようもなく途方にくれていた。ある日、あわて者の竜太がおかかえ運転手の早田保彦(倉石襄)をヒカリ産業の二代目と早合点、紹介された松造は光子にとって玉の輿のチャンスと大喜び。光子もハンサムな保彦にマンザラでもなかったが、思いきって和男とのことを打ち明け協力を求めるのだった。ところが、その様子を知った和男はすっかり誤解してしまい、光子にあたりちらすと、またまた親たちが出てきて、もめ事は大きくなるばかり。間に立ってニヤニヤするのは、両方にとりいて競馬の資金をいただいた竜太だけという始末。そうこうしているうちに、松造のところには妙なお客ばかり。チッコイ嫁はん夏江(正司敏江)をやたらドツイたり、蹴つとばしたりして、自分ばかり寿司を食っている冬児(正司玲児)が来たとかと思うと、松造の妹の春子(京唄子)と夫の秋助(鳳啓助)が現われて、松造があずかっているはずの持参金をくれと、ややこしい話の連続、ついには見かねた光子が自分の貯金をはたいて春子に渡しおさまった。かと思えば、一郎(東八郎)、二郎(原田健二)、三郎(小島三児)のズーザー弁の三兄弟がいきなりやってきて、去年の賭けごとの借金を取り立てた。金がなければ、代りに光子を三人の嫁にくれと強談判、さすがにあきれた光子は表へとび出してしまった。かげながら、光子を心配していた和男はあわてて追いかけたが、途中で保彦に光子をさらわれその夜はヤケ酒。それを見た竜太は、こうなったら強引に光子を抱いて「既成事実」をつくってしまえとそそのかした。



森川 信 (もりかわ・しん)

1912年2月14日生まれ。神奈川県横浜市南区中村町出身。
1931年遠戚にあたる俳優・静香八郎と共に俳優の道へ。
1932年に静香八郎主演の『肉弾三勇士』でデビュー。
1943年に松竹と契約し、山茶花宛らを知る。
1948年より岸井明と「のらくらコンビ」を組み、コミカルな演技で人気を博す。
1953年にフリー。『男はつらいよ』の初代おいちゃん(車竜造)で広く知られる。
1972年3月26日死去。享年60。墓所は横浜市西区の久保山墓地にある。



<これまでの上映作品>全72作品(特別上映会6回、上映会中止2回を含む)

(C)日活

美しい夏キリシマ/パッチギ！/カーテンコール/二人日和/ゆるる/トリノ、24時からの恋人たち/長い散歩/天空の草原のナンサ/イノセント・ボイスー12歳の戦場ー/モーターサイクル・ダイアリーズ/恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船・白い馬/三本木農業高校、馬術部/ラストゲーム～最後の早慶戦/マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/縞模様のパジャマの少年/春との旅/小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/ミツバチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/ハーモニー心をつなぐ歌/ドバーバばあ織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ/月世界旅行・メリエスの素晴らしき映画魔術/かぞくのくに/警察日記/名もなく貧しく美しく/よみがえりのレシピ/きつと、うまいく/日本の悲劇/ペコロスの母に会いに行く/息子/ハンナ・アーレント/標的の村/救いたい/野のなななのか/ぼくたちの家族/NO(ノー)/春よこい/野火/手のひらを太陽に/袴田巖夢の間の世の中/父を探して/お盆の弟/祖谷物語ーおくのひとー/東京ウィンドオーケストラ/ふるさと/どっこい！人間節 寿・自由労働者の街/孤獨の人/喜劇大風呂敷/神宮希林わたしの神様/寿ドヤ街生きる/寿ドヤ街生きる2/日曜日の子供たち/1999年の夏休み/風のある道/アダムズ・アップル/十階のモスキート/約束名張毒ぶどう酒事件死刑囚の生涯/夢は夜ひらく/我が人生最悪の時/喜劇・いじわる大障害

横浜キネマ倶楽部 第68回上映会 5月4日(水・祝)『木靴の樹』横浜市南公会堂

【横浜キネマ倶楽部】

住所: 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンターNo.269 横浜キネマ倶楽部

<問合せ> TEL 080-2554-8023(10~18時) Eメール: yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp HP アドレス <https://ykc.jimdofree.com/>